

まちとひと
共生創生

田原市の人口減少を見つめて

急激な人口減少と少子高齢化に直面している日本。田原市においても人口減少が予想されています。人口が減ると、どのような社会になるか、一緒に考えていきましょう。

▼政策推進課 ☎23局3507

◎日本の総人口は減少局面へ

未婚率の上昇や晩婚化により、1974年以降に合計特殊出生率^{※1}が人口置換水準^{※2}を下回った結果、日本の総人口は、2008年をピークに人口減少局面

へと転じています。

国立社会保障・人口問題研究所によれば、日本全体の人口は、2010年国勢調査による1億2806万人から2040年には1億728万人となり、2060年にはさらに減少が進み、8674万人になるものと推計されています。

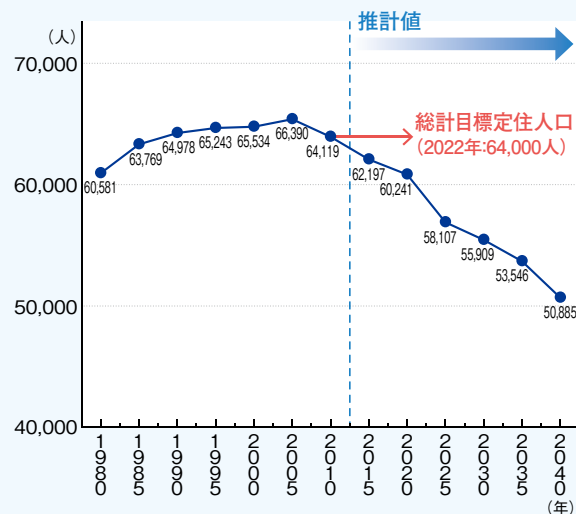
◎田原市の人口は減少し、高齢化が進む

田原市の人口は、2000年代はじめまで緩やかな増加傾向にありましたが、2005年から2010年にかけて減少に転じています。国立社会保障・人口問題研究所の予測によると、2040年の人口は5万885人まで減少するとされています。将来にわたって活力を維持していくためには、人口減少を最小限に止める必要があります。

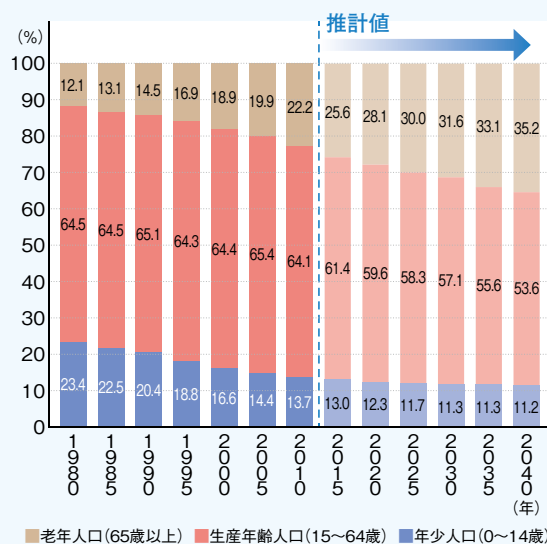
下記グラフで、年齢階層別人口割合を2010年と2040年で比較してみます。

年少人口(0歳～14歳)割合は、13.7%から11.2%と2.5ポイント減少する一方、老年人口(65歳以上)割合は、22.2%から35.2%と13.0ポイント増加しており、高齢化が一層進むと予想されています。

●田原市の人口の推移と予測



●田原市の年齢階層別人口割合の推移と予測



※1 合計特殊出生率…人口統計上の指標。一人の女性が一生に産む子どもの平均数。
 ※2 人口置換水準…増減なく人口が推移するとされる水準。